

改正個人情報保護法 全面施行

2022年4月1日施行

- ①ペナルティの厳罰化
- ②安全管理措置の開示が義務化
- ③個人情報漏えいの報告義務と本人への通知の義務化



情報漏えいの2大原因



誤操作ミス

過失

- 誤操作
- 管理ミス
- 紛失・置き忘れ
- 設定ミス
- バグ・セキュリティホール

故意

- 不正アクセス
- 不正な情報持ち出し
- 内部犯罪・不正行為
- 目的外使用

引用文献: <https://www.itmedia.co.jp/>
<https://resemom.jp/article/2016/06/16/32087.html>
<https://note.com/connectone/n/n1a5cfe5fc26>

個人情報漏えいで意外と多いのがメール誤送信です。
よく見かけるのが添付ファイルをパスワード付きメールと一緒に送る手法(PPAP)ですが、誤送信してしまえば全く意味がなく、また今流行しているウィルス(EMOTET)がこのやり方でウィルス付きメールを送りつけてきます。
そこでメール経由の「情報漏えい」と「うっかりミス誤送信」を確実に阻止出来るツールをご用意しました。

Active!gate

メール経由の「情報漏えい」と「うっかりミス」を確実に阻止
7つのアプローチを搭載したメール誤送信防止ソリューション

脱PPAP への対応策

添付ファイルのZip暗号化に代わる
ファイル送信運用

7つの誤送信防止アプローチ

- 1 送信メールの一時保留**
管理者またはユーザーが任意に設定した条件によって、メールを一定期間保留できます。保留されたメールはユーザー自身で確認し、「配送」「破棄」の選択をすることができます。
- 2 添付ファイルの暗号化**
添付ファイルをパスワード付きのファイルに自動変換できます。他社にはない"2回にわたるファイル暗号化。実行により、ファイル名の漏えいも防ぐことができます。"
- 3 添付ファイルのWebダウンロード**
管理者またはユーザーが設定した条件によって、添付ファイルを分離してメール本文のみを送信します。分離された添付ファイルは、別途パスワードを使用しWebからダウンロードすることができます。
- 4 Bcc 強制変換**
「To」や「Cc」に外部宛での大量メールアドレスを誤って指定した場合、「Bcc」に強制的に変換できます。これにより、個人情報の漏えいを防ぐことができます。
- 5 送信拒否**
時間帯や送信者、キーワードなど管理者の設定した条件により、メールの送信自体を拒否します。送信拒否をした場合、送信者にそれを知り通知するメールを送ることができます。
- 6 時間差配信**
社内、準社内(グループ会社などを設定可能)、社外などドメインごとに時間差で配信することができます。まず社内にメールを送り、社外宛には後から送るという設定にすることで、送信者が気づかなかった「うっかりミス」を阻止できます。
- 7 上司承認(オプション)**
上司など承認者の許可を得たメールのみ送信することができる機能です。一時的な離席、長期出張など承認者の状況に応じて、代わりに承認する代理者を柔軟に設定できる機能を装備しています。

GODO情報セキュリティかわら版

第3号

令和4年5月発行
ゴードービジネスマシン株式会社

【お問い合わせ】 ゴードービジネスマシン株式会社(大分市下郡北1-2-12)
TEL: 097-568-4600 FAX: 097-569-0121

godobm.net

検索

担当